

## 平成 28 年度狂犬病予防注射業務関係者研修会の開催

平成 28 年度狂犬病予防注射業務関係者研修会が、平成 28 年 11 月 17 日に新潟県自治会館において開催された。開業獣医師 113 名、新潟県関係者 17 名、19 の市町村から 30 名、その他 3 名の合計 163 名が参加して行われた。冒頭、県獣楠原会長理事と県生活衛生課の阿部課長様から挨拶を頂き、その後、行政説明と講演が行われた。

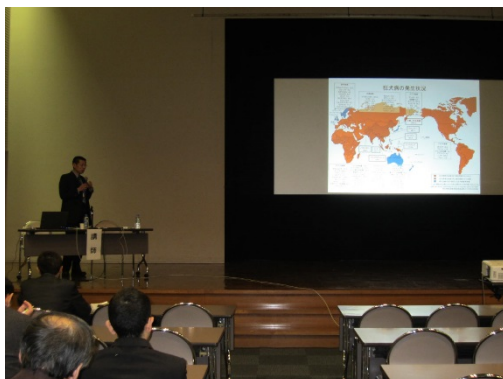
行政説明では、県生活衛生課の遠山副参事様から、狂犬病の世界における現状とヒト、犬の症状等の説明、台湾におけるイタチアナグマの狂犬病発生状況などの説明があった。また県内における犬の登録頭数や接種率の推移も報告された。県、市町村、獣医師会の連携が重要であることが強調され、現在県に於いて狂犬病発生時対応マニュアルを策定中であるということが明らかにされた。

後半では、狂犬病臨床研究会会長である佐藤獣医科院長の佐藤克先生から、「犬猫の狂犬病徴候と犬の臨床診断」と言うテーマで約 2 時間の講演がなされた。日本では見ることの出来ない貴重な動画が多く映し出され、おびえて噛みつく犬と狂犬病罹患犬の噛みつき方の違いなどが興味深かったと共に、滅多に見ることが出来ない狂犬病に感染した猫の動画も聴講者に披露された。また犬の狂犬病臨床診断に Veera（タイ赤十字研究所）の 17 徴候が説明され（動画）、生前診断に大いに参考となるものであった。現在、狂犬病清浄国の日本で、平和ぼけしている我々にとってこうした発生国の現実を見せられた時、いつ起きてもおかしくない狂犬病の驚異をあらためて認識し直す必要を感じた講習会であった。

最後の質疑応答では、参加した市町村の職員から猶予証明書の扱いに関する質問、また獣医師からは抗体価に関する質問など、参加者の問題意識の高さが垣間見えた。最後に県獣の遠藤副会長の閉会の挨拶で今年の研修会も無事に終了した。



研修会の様子



行政説明 遠山潤 副参事



講演される佐藤 克 先生